

事業評価シート

資料2

施策 通し 番号	目 標	施策の方向性	施策	担当係	庁内連携課	連携機関/ 関係	取組状況	進捗評 価	今後の課題	9期 記載 ペー ジ	方向性	具体的な方向性（拡大・改善、廃止を選択した場合）
70	住まいの確保と防犯・防災対策の充実	高齢者向け住宅の充実	高齢者向け住宅の充実	地域包括ケア係			有料老人ホームの建設計画が事業者からあったが、資材価格高騰等の影響で撤回された。			107	現状維持	
71	住まいの確保と防犯・防災対策の充実	介護サービス事業所への防災意識の啓発	介護サービス事業所への防災意識の啓発	地域包括ケア係			運営指導を通じ各事業所のマニュアル等を確認した。	B		109	現状維持	
72	住まいの確保と防犯・防災対策の充実	災害対策に係る体制整備	災害対策に係る体制整備	地域包括ケア係	危機管理課		福祉避難所開設訓練（R7.11.29実施）、水谷東地域非常災害対応訓練（兼水谷東小学校区防災訓練）（8.3.29実施予定）	B	福祉避難所開設訓練を実施するにあたり、関係団体と調整が必要	109	現状維持	
73	住まいの確保と防犯・防災対策の充実	災害時における高齢者への支援	災害時における高齢者への支援	地域包括ケア係	福祉政策課		避難行動要支援者支援事業において、災害発生時に支援が必要な高齢者や障がい者の方などに対して、安否確認や情報の提供、避難誘導など、地域での助け合いを進めるための仕組みづくりに取り組んだ。	B	避難支援者の担い手が不足しているため、担い手になり得る地域住民などに対して事業の周知と意識啓発を行い、支援の輪を広げる必要がある。	109	現状維持	
74	住まいの確保と防犯・防災対策の充実	感染症対策に係る体制整備	感染症対策に係る体制整備	地域包括ケア係	健康増進センター		運営指導を通じ各事業所のマニュアル等を確認した。	B		109	現状維持	
75	住まいの確保と防犯・防災対策の充実	高齢者の居住安定に係る施策他計画との連携	高齢者の居住安定に係る施策他計画との連携	地域包括ケア係	建築指導課		埼玉県住まい安心支援ネットワークの会議に参加	B		110	現状維持	
76	住まいの確保と防犯・防災対策の充実	住宅確保要配慮者に係る施策との連携	住宅確保要配慮者に係る施策との連携	地域包括ケア係	建築指導課		埼玉県住まい安心支援ネットワークの会議に参加	B		110	現状維持	
77	移動支援と買い物支援	在宅生活を支える施策の充実	市内循環バス特別乗車証交付	庶務係	都市計画課		【都市計画課】慢性的な運転手不足の状況が続いているが、バス運行事業者等と協議・調整し、公共施設や駅などへの交通手段としての市内循環バスを維持・継続できるよう取り組んできた。	C	市内循環バス特別乗車証の交付手続きに手間がかかっているため、交付方法を見直す必要がある	89	拡大・改善	市内循環バス特別乗車証の交付方法について、他市の取組を研究し、マイナンバーカードの活用等も含めて検討していく
新設	移動支援と買い物支援	移動支援	運転免許証返納後の移動支援						運転免許証を返還してしまうと外出が困難な方への施策の検討が必要		新規	先進事例を研究していく
78	移動支援と買い物支援	移動支援と買い物支援	ふじみ在宅福祉サービスセンター	地域包括ケア係		社会福祉協議会	地域支援事業実施要綱の改正に伴い、様々なボランティアが地域支援事業の生活援助を担うことになできるようになり、基準も大幅に緩和された。		地域支援事業として社協のふじみ在宅福祉サービスセンターを実施できないか、引き続き社協と検討を行っていく。	115	現状維持	
新設	ひとり暮らし高齢者支援と終活支援	ひとり暮らし高齢者支援と終活支援に関する取組	ひとり暮らし高齢者支援						社会福祉協議会は、今後、社会福祉法の改正により、協助づくり、終活支援を担うことになり、人員体制がひっ迫する可能性がある		新規	現在、中核機関業務を社会福祉協議会に委託しているが、新規事業については今後業務内容や委託先を検討する。
新設	ひとり暮らし高齢者支援と終活支援	ひとり暮らし高齢者支援と終活支援に関する取組	終活支援						独居高齢者が増加しており、終活に対する施策の検討が必要となっている。		新規	先進事例を研究していく
79	社会参加の促進	介護支援ボランティアポイント事業の推進	介護支援ボランティアポイント事業の推進	健康増進センター			登録説明会を毎月実施した。広報に毎月記事載せるように工夫したところ、登録説明会の参加者が増加した。ポイントを付与する対象者をコロナ前に戻したことにより実績値が低くなっている。	B		113	現状維持	

施策 通し 番号	目 標	施策の方向性	施策	担当係	庁内連携課	連携機関/ 関係	取組状況	進捗評 価	今後の課題	9期 記載 ペー ジ	方向性	具体的な方向性（拡大・改善、廃 止を選択した場合）
80	社会参加の促進	パワーアップ・リーダーの 養成	パワーアップ・リー ダーの養成	健康増進セ ンター			2会場で養成講座を実施し、新たに2ク ラブ開設できた。	B	引き続き、町会等に働きかけ新しいク ラブを開設していく。	113	現状維持	
81	社会参加の促進	高齢者の就業への支援	高齢者の就業への支 援	地域包括ケ ア係	（産業経済 課）	埼玉しごと サポート ハローワー ク 埼玉県シル バー人材セ ンター	高齢者も含めた全世代向けの就職支援 講座を実施し、関係機関が実施する高 齢者向けのセミナーや技能講習等の情 報周知を行った。内職相談においても 高齢者の相談に対応し、適切な内職提 案及び事業所紹介を行い高齢者の就業 支援に努めた。	B	今後も連携機関と情報共有をし、適宜 その方のケースに合った情報提供を継 続する必要がある。	114	現状維持	
82	社会参加の促進	市民人材バンク制度の活用	市民人材バンク制度 の活用	地域包括ケ ア係	生涯学習課		市民人材バンク推進員の会と協働の広 報活動等により、利用件数や新規登録 者の増加しており、地域人材の活用に つながっている。	B	登録者の高齢化による登録削除も増え ているため、令和8年度の登録更新確 認の際に登録者が減ってしまう可能性 が高い。	114	現状維持	
ー	社会参加の促進	アクティブシニアの活躍推 進	アクティブシニアの 活躍推進	地域包括ケ ア係			具体的な活動はあまりできなかった。		60～70歳代は昨今の経済情勢により働 いている方も多くなり、またステレオ タイプ化したシニア観とは異なる方も 多い。	115	廃止	
83	社会参加の促進	その他の社会参加	ボランティア活動の 活性化支援	地域包括ケ ア係		社会福祉協 議会	社会福祉協議会の広報を通じて周知を 行った。			115	現状維持	
84	生きがいがづくりの推 進	学習機会の充実	鶴瀬学級	地域包括ケ ア係	鶴瀬公民館		6回の教養講座と月2回程度の学級活 動。教養講座の内容は回によって異な り、防災や歴史に関する講演・音楽鑑 賞など。		課題は運営委員のなり手不足や高齢化 による学級性の減少。	116	現状維持	
84	生きがいがづくりの推 進	学習機会の充実	なんばた学級	地域包括ケ ア係	南畑公民館		生きがいがづくりの機会を提供するた め、全体学級（月1回）とクラブ活 動、学級だよりの発行を行った。	B	受講者の固定化と超高齢化の傾向がみ られる。	116	現状維持	
84	生きがいがづくりの推 進	学習機会の充実	水谷学級	地域包括ケ ア係	水谷公民館		学習意欲の向上や仲間づくりの一助と して、全体会（年5回）と各種サークル 活動（月1～2回）を実施した。	B	課題は、参加者の減少と講師の人手不 足。	116	現状維持	
84	生きがいがづくりの推 進	学習機会の充実	熟年学級	地域包括ケ ア係	水谷東公民 館		60歳以上の高齢者を対象に、身近な 話題による学び合いや受講生相互の交 流を図ることを目的に実施している。	B	男性受講者や60歳代の受講者を増や すことが今後の課題である。	116	現状維持	
84	生きがいがづくりの推 進	学習機会の充実	水曜学級	地域包括ケ ア係	鶴瀬西交流 センター		60歳以上の方を対象に生涯学習講座や サークル活動などを通して親睦を深 め、心身ともに健康で生きがいのある 充実した生活を送る事を目的に実施し た。 9サークル活動（パワーアップ体操、レ クダンス、コーラス、健康体操、絵 画、書道硬筆、生け花、脳トレ麻雀、 卓球）	S	今後の課題としては、各サークルの運 営委員（代表）が選出されない傾向に ある。更に受講生の減少を食い止める 方法の検討。関係課との連携について は、全体会（毎月1回テーマを決めて実 施）でのテーマに沿った講師の派遣、 関係資料の提供等の調整。	116	現状維持	
84	生きがいがづくりの推 進	学習機会の充実	ふじみ野じゅく	地域包括ケ ア係	ふじみ野交 流センター		「ふじみ野じゅく」年間を通して共に 学び合い、交流を深めることを目的 に、様々な事業を月1回開催、幅広い 年齢層の方が参加した。	S	引き続き周知の工夫を図り、参加者を 増やす。	116	現状維持	

施策 通し 番号	目 標	施策の方向性	施策	担当係	庁内連携課	連携機関/ 関係	取組状況	進捗評 価	今後の課題	9期 記載 ペー ジ	方向性	具体的な方向性（拡大・改善、廃 止を選択した場合）
85	生きがいづくりの推 進	デジタルデバイド対策	デジタルデバイド対 策	地域包括ケ ア係	（ICT推進 課・各公民 館）		【水谷公民館】株式会社ソフトバンク の職員を講師に招き、スマホ初心者 を対象に講座を実施。（10回73人） 【水谷東公民館】 デジタルディバイド対策として、企業 の協力をによるスマートフォン講座等 を実施し、地域住民のＩＴ活用向上を 図ることを目的に開催している。二次 元コードから講座の申込ができるよう にすることで、参加した高齢者が積極 的にスマートフォンを利用すること につながった。また、親子世代に対する 講座も開催することで、幅広い年代に 対してデジタル活用の支援をすること ができた。 【南畑公民館】 ソフトバンクのスマートフォン体験教 室の提案を受け、「はじめてのスマホ 講座」をデジタルデバイド対策として 20名程度の定員で3回開催		【水谷公民館】課題は、内容の検討と 新たな参加者の獲得。（10回73人） 【水谷東公民館】 参加者の固定化が課題である。もっと 多くの地域住民に受講してもらえるよ う、工夫する必要がある。	117	現状維持	
-	生きがいづくりの推 進	老人福祉センターの利用促 進	老人福祉センターの 利用促進	庶務係		労働者協同 組合ワー ークスコー プ・セン ター事業団 /指定管理 者	自主事業の頻度、活動の幅を広げて実 施した。	C	新規利用者、団体の大幅な増加にはつ ながることができず、前年と横ばいの 利用者数となりました。	117	現状維持	
86	生きがいづくりの推 進	老人クラブ活動・サークル 活動の支援	老人クラブ活動・ サークル活動の支援	庶務係			申請に基づき、老人クラブに補助金を 交付している。	C	役員のなりて不足や会員の高齢化によ る活動機会の減少を理由に脱会が継続 してある状況です。今後もクラブ数の 減少が続く恐れがあります。	118	現状維持	
87	生きがいづくりの推 進	高齢者サロンへの支援	高齢者サロンへの支 援	庶務係				E		118	廃止	
88	認知症への理解の促 進	認知症に関する普及啓発の 推進	認知症ケアパスの作 成	高齢者支援 係			詳細版を作成。	B		99	現状維持	
89	認知症への理解の促 進	認知症に関する普及啓発の 推進	認知症サポーター養 成講座の開催	高齢者支援 係			小中学校、高校、放課後児童クラブ、 民生委員等に対して開催。	D	回数及びサポーター養成者数が大幅に 減少した理由として、チームオレンジ やや本人ミーティングといった新たな 活動に注力したことが要因と考える。	99	現状維持	
90	認知症への理解の促 進	認知症に関する普及啓発の 推進	認知症サポーター フォローアップ講座 （ステップアップ講 座）の開催	高齢者支援 係			チームオレンジの形成を行ったため、 フォローアップ講座の開催は1回と なった。	C	チームオレンジとの兼ね合いで講座を 開催していく。	100	現状維持	
新設	早期発見、医療・ケ ア・介護サービス、 介護者への支援	MCIに向けたポピュラー ションアプローチ	初期診断アプリ						富士見市は、重度認定率が高く、初期 での適切な介入が行われていない可能 性がある		新規	初期診断アプリの導入の検討等、 先進事例を研究していく
91	早期発見、医療・ケ ア・介護サービス、 介護者への支援	認知症初期集中支援チーム の取組み	認知症初期集中支援 チームの取組み	高齢者支援 係			チーム員会議を活用し、対象ケースの 検討や多職種間の連携・役割分担を協 議した。引き続き、チーム員が連携を 図りながら支援を行っていく。	C	引き続き、チーム員が連携を図りなが ら支援を行っていく。継続支援対象 ケースが多く新規相談ケースが少ない 傾向にあるため、関係者に認知症初期 の支援事業を継続して周知する。	94	現状維持	
92	早期発見、医療・ケ ア・介護サービス、 介護者への支援	認知症ケア相談室の設置	認知症ケア相談室の 設置	高齢者支援 係				B	認知症に関する相談はケアに限らない ことから、相談実績に反映されない。	95	現状維持	

施策 通し 番号	目 標	施策の方向性	施策	担当係	庁内連携課	連携機関/ 関係	取組状況	進捗評 価	今後の課題	9期 記載 ペー ジ	方向性	具体的な方向性（拡大・改善、廃 止を選択した場合）
93	早期発見、医療・ケ ア・介護サービス、 介護者への支援	認知症地域支援推進員の活 動	認知症地域支援推進 員の活動	高齢者支援 係			毎月推進員会議を開催、アルツハイ マー月間イベント、チームオレンジ ミーティング、認知症ケアパス作成を 実施。認知症本人ミーティングは試験 的に2回実施。	B	認知症施策推進基本計画に基づき、認 知症本人ミーティングの充実など本人 参画の機会づくりが課題である。	95	現状維持	
94	早期発見、医療・ケ ア・介護サービス、 介護者への支援	認知症予防に関する取組み	認知症予防に関する 取組み	高齢者支援 係			高齢者あんしん相談センターと連携 し、対応している。	B		96	現状維持	
95	早期発見、医療・ケ ア・介護サービス、 介護者への支援	再掲）認知症高齢者見守り 訪問事業	再掲）認知症高齢者 見守り訪問事業	高齢者支援 係		高齢者あん しん相談セ ンター/委 託	在宅生活が続けられるよう定期的な訪 問に加え、対象者の状況に合わせた訪 問や電話連絡などを行った。	B		89	拡大・改善	
96	早期発見、医療・ケ ア・介護サービス、 介護者への支援	認知症の方やその家族を支 える取組み	徘徊高齢者等ステッ カー配布	高齢者支援 係			ステッカー配布事業を実施。二次元 バーコードタイプのステッカーの導入 に向けて、外部サービス利用に係る サービスレベル合意書（SLA）等につい て事業者と協議。	D	事業者とSLAを締結できない場合は類 似サービスを研究する。	96	現状維持	
97	早期発見、医療・ケ ア・介護サービス、 介護者への支援	認知症の方やその家族を支 える取組み	チームオレンジの構 築	高齢者支援 係			認知症サポーターフォローアップ研修 （ステップアップ研修）の受講者と認 知症推進員とともにチームオレンジを 結成。認知症基本法に示される「新し い認知症観」の普及啓発のため、9月の アルツハイマー月間にて合同オレンジ カフェを開催。	B	活動の充実やチームの拡大が課題。	98	現状維持	
98	認知症の人の社会参 加支援	若年性認知症の人等に対す る相談支援・社会参加支援	若年性認知症の人等 に対する相談支援・ 社会参加支援	高齢者支援 係			高齢者あんしん相談センターと連携 し、対応している。	B		95	現状維持	
99	認知症の人の社会参 加支援	認知症の方やその家族を支 える取組み	オレンジカフェ（認 知症カフェ）の開催	高齢者支援 係			各包括主催で概ね計画通り実施。ま た、アルツハイマー月間のイベントと して、チームオレンジと協働で合同オ レンジカフェを行った。	B		97	現状維持	
—	在宅高齢者支援の推 進	在宅生活を支える施策の充 実	寝具乾燥サービス事 業	高齢者支援 係						86	廃止	

方向性	説明
拡大・改善	内容を拡充して実施する事業または現在の内容や手法等を見直し、改革・改善を実施する事業
現状維持	現状を維持していく事業
縮小	環境変化や有効性の観点から、縮小する事業
廃止	環境変化や有効性の観点から、廃止する事業

評価	評価内容
S	非常によくできた・目標を大きく超えた・計画初年（令和6年度）に実現できた
A	よくできた・目標を超えた
B	ふつう・できた・目標どおり
C	あまりできなかった・目標を少し下回った
D	ほとんどできなかった・目標を大きく下回った
E	できなかった・実績がない